



東京金山会通信 No.79



◀こちらから東京金山会のページにアクセスできます

第87回 山形県人東京連合会総会・県人祭り 参加報告

9月7日、東京都千代田区・ホテルニューオータニで「第87回山形県人東京連合会総会・県人まつり」が盛大に開催されました。当日は首都圏を中心に650名を超える山形ゆかりの方々が集い、ふるさとを想う温かな雰囲気になりました。今回、東京金山会からは11名が出席し、首都圏在住の方々同士の交流を深める良い機会となりました。

総会では、折原副知事が登壇され「県人会活動は山形と県外を結ぶ大切な架け橋であり、ふるさとの魅力を広く発信し交流人口の拡大につなげたい」との言葉を述べられました。また、県選出の芳賀道也参議院議員、吉田はるみ衆議院議員（東京8区選出・山形県出身）をはじめ、多数の来賓からも激励の挨拶が寄せられ、ふるさとへの熱い思いが共有されました。

第2部の県人まつりでは、花笠パレードを皮切りに、郷土芸能や合唄、地域紹介、抽選会などが行われ、会場は拍手と笑顔に包まれました。今回の県人祭りは、東京金山会を含む最上地域のあるさと会が運営担当となり、他の地域団体の皆様のご支援を受け、運営に携わりました。ふるさとを離れて暮らす方々と山形県をつなぐ場として、県人会の活動は大きな意味を持っています。今後も、金山町の魅力を県内外へ広く発信すべく、関係される方々との交流を大事にしていきたいと思います。



▲第87回山形県人東京連合会総会・県人まつりの様子

【問合せ】 東京金山会 広報担当 藤山善夫 ☎080-5525-0435 mail: fujiyama.d.siren@ae.auone-net.jp

ぶんげい

金山杉俳句会 第五〇四回

うろこ雲登まで同じ場所に居て
客人の話つきない秋の午後

阿部 一代

秋さやか即身仏は緋の衣
風の彩ふうせんかずら薄みどり

星川 キエ子

川向こう赤き鳥居や秋うらら
どことなく秋を感じる雲の色

岸 昭子

波うちて休耕田のそばの花
桔梗咲く一輪ざしのおもてなし

高橋 洋子

沿道に世相を映し案山子立つ
飛行機雲少し崩れて秋遍路

鶴沼 よし子

深山なる隠沼ひそと楓の黄
満月の蒼さに路を遠回り

栗田 弥超

かねやま紅風会

中秋や囀る虫の音声細く
冷立ちて朝霧深かむ散歩道
花畑やひまわり盛る残暑かな

荒屋 阿部 勝子

間引菜も一足早し旬の味
コスモスの花に囲まれ退院す
庭先のチラホウ咲きし彼岸花

荒屋 関 喜美子

新涼の東吹く風の月明かり
湯の台や白き高原蕎麦の花
暑き日も秋分境に遠ざかる

菅越 庄司 けみ子

金木犀きわいに笑ふ友の居て
どこかに夫の手みるごと狭庭かな
夫逝きて肩に冷たき秋時雨

七日町 青柳 キエ子

開病の妻に類すり秋の空
寂しさや思い出巡る夢の跡
天高く望む鳥海三坂山

上台 阿部 一步

森の子ども図書

No.238



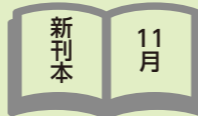
すきなことにがてなこと

作：新井洋行

人それぞれ好きな事・苦手な事がある。「苦手」が個性になり、「好き」が隣にいる人を助けることがある。自分を認め、他者と支え合う。多様な人々が共生を目指す社会を生きる子どもたちに伝える絵本。あなたの好きな事・苦手な事はなんですか？

交流サロンぽすと

月～金 12時30分～17時30分まで
※祝・盆・正月は休み



※（ ）内作者名

／今月は6冊／

墜落遺体（飯塚訓）／13月のカレンダー（宇佐美まこと）／春の星を一緒に（藤岡陽子）
名探偵にさよならを（小西マサテル）／おだんごとんりベンジ（ガタロー☆マン）
ポケモン生態図鑑（株式会社ポケモン・きのしたちひろ）

図書室だより

【図書コーナー】 金山町中央公民館内 9時～17時



13月のカレンダー

宇佐美まこと／集英社

亡くなって空き家となった祖父母の家を訪ねた主人公は、13月である不思議なカレンダーと、祖母の病状を綴ったノートを見つけて。遺品から祖父母の戦後の暮らしをたどると、これまで知ることのなかった原爆投下時の過去を知る事となる。



ポケモン生態図鑑

株式会社ポケモン・きのしたちひろ

／小学館

発売後1か月で60万部に達した、まさにベストセラー。生物学的な視点でポケモンを語る唯一無二の図鑑。読み進めていくうちに、生き物としてのポケモンの魅力にとりつかれる！ポケモンの姿や形、生活、関わり、移動能力が全て分かる！

今年度のSUP事業を振り返って



◀日々の活動の様子はInstagramで発信中です



地域おこし協力隊 大友 淳

皆さんこんにちは。地域おこし協力隊の大友淳です。金山町の豊かな自然を舞台に展開してきたSUP（スタンドアップパドル）事業も、この9月で今年度の活動を終えました。今年度は6月から9月までの期間にわたり、延べ約70名の方々に体験いただきました。最年少はなんと1歳、最高齢は75歳と、幅広い世代の方々にご参加いただけたことは、大きな成果であると感じています。特に家族連れの参加が多く、お子さんと一緒に湖上を進む様子や、ご夫婦でゆったりとした時間を楽しむ姿は、この地域ならではの自然体験の魅力を変えて実感させてくれるものでした。また、安全面においても事故や大きなトラブルもなくシーズンを終えられたことは、スタッフ一同にとって何よりの喜びです。初めての挑戦される方が多い中で、事前のレクチャーやライフジャケットの着用徹底といった安全管理が実を結んだ結果だと考えています。安心して楽しめる環境づくりを第一に、これからも努めてまいります。



事業を続ける上で大きな励みとなっています。SUPをきっかけに町を訪れ、地元の宿泊や飲食、イベントに足を運んでくださる方が少しずつ増えているのも実感しています。

金山町にはまだまだ眠っている魅力的な自然資源が数多くあります。SUP体験を通して得られた学びや出会いを活かしながら、今後も地域の皆さま、そして町外から訪れる方々に楽しんでいただける新しい体験を企画していきたいと考えています。来季もまた、多くの方々に金山の自然を満喫していただけるよう、挑戦を続けてまいります。

自然の魅力と人の温かさになれることで、この町に小さな「関わりしろ」を見つけてくれる人が増えるよう、これからも一歩一歩、活動を続けていきます。